



すこやかコラム

体を使った遊び

子どもの体の発達には、筋力やバランス感覚の発達を促す「体を使った遊び」が大切です。

首がすわり、寝返りをするころには、体全体を使ううつぶせ遊びを楽しみます。うつぶせで顔をしっかりと上げ、床を這う動きは、腹筋や背筋が付き、歩く力や飲み込む力、言葉を話す力などを育てることも大切な運動です。

歩けるようになると、歩きが上手になる散歩を楽しみます。安定した平らな床だけでなく、坂道や土・砂などの柔らかい場所、でこぼこ道などを歩くことによる感覚や姿勢維持に必要な力が育ち、歩きがしっかりします。

そして、体の動きの器用さを育てるために、滑り台をよじ登ったり、鉄棒にしがみついたり、段差をしっかりとまたいだり、ぶつからないようにくぐったりする遊びを楽しみます。よじ登る姿勢や棒にしがみつく姿勢は、腕の筋力や腹筋、背筋が育ちます。しっかりと動く動作は、片足で体重を支え、反対の足に重心を移動することを覚えることができます。ぶつからないようにくぐる動きは、自分の体の輪郭を理解する力がつきます。

体を大きく使って元気に遊ぶことは、手先の細かい操作や言葉を話す力にもつながります。発達に合わせて、子どもが喜ぶ「体を使った遊び」を大人も一緒に楽しみましょう。

原稿：市保健師

地域子育て支援センター

センターの催し

- ◎子育て健康相談 by 保健師
〜確かめてホットと安心健やか子育て〜
とき 10月2日(木)・11月6日(木)
午前10時30分〜11時30分
※申し込みの必要はありません。
- ◎春・夏・秋・冬 季節の歌遊びを楽しもう!
とき 10月15日(水)
午前10時45分〜11時30分
※申し込みの必要はありません。
- ◎ママのミニ学習会「からだ編」
〜子どもの病気〜
講師 吉原重美氏
とき 10月1日(水)
午後1時45分〜3時45分
- ◎ママのミニ学習会「こころ編」
〜乳幼児期の対応について②〜
講師 小野原美美子氏

子育て健康相談に行ってきました

9月4日(木)、「子育て健康相談 by 保健師」が行われました。この子育て健康相談は、市の保健師がセンターで子育てについての相談を受けるものです。この日も数名のお母さんが相談していました。相談したお母さんに話を聞くと「いろいろアドバイスをいただいて安心しました」と話してくれました。

子育て健康相談は、毎月第1木曜日に行われています。お子さんのことで何かが気になることがあるお母さん、センターへ遊びに行くついでに相談してみたいかがですか。



- とき 10月21日(火)
午後1時45分〜3時45分
申込期限 10月17日(金)
※お子さんをお預かりします。
- 開催場所 すべて子育て支援センター
◎ミニ動物園
〜かわいい動物に触れてみよう!〜
とき 10月8日(水) ※雨天順延
午前9時30分〜11時30分
今市運動公園
- ※申し込みの必要はありません。
- ◎秋の遠足〜りんご狩り〜
とき 10月22日(水)
午前10時〜午後2時
宇都宮市のりんご園
- 定員 親子22組(先着順)
- 申込開始 10月1日(水)から
申込先及びくわしくは
地域子育て支援センター ☎22-2299

だよい 図書館

ホームページアドレス
<http://lib.nikkocity.jp/>
携帯電話用アドレス
<http://opac.city.nikko.lg.jp/>



お問い合わせは

- ◆今市図書館 ☎22-6216
開館時間：午前9時〜午後7時
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- ◆日光図書館 ☎53-5777
開館時間：午前9時30分〜午後6時
休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- ◆藤原図書館 ☎76-1203
開館時間：午前9時30分〜午後6時
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

10月の催し

- ▼今市図書館
◎童話・児童文学セミナー
とき 10月11日(土)午後1時30分〜3時
演題 気楽に童話を楽しむ
講師 高橋秀雄氏
定員 40名(先着順) 参加費 無料
申込方法 電話か直接窓口で申し込む
◎読書会(二水会)
とき 10月15日(水)午後1時30分〜3時
◎おはなし広場
とき 10月11日・25日(土)
午後2時〜3時
- ▼日光図書館
◎読書会(いずみの会)
とき 10月21日(火)午前10時〜正午
◎おはなし会
とき 10月4日・18日(土)
午後2時〜3時

- ◎赤ちゃんのためのおはなし会
とき 10月2日・16日(木)
午前10時30分〜11時
- ▼藤原図書館
◎おはなし会
とき 10月1日(水)
午前10時30分〜11時30分
10月18日(土)
午後1時30分〜2時30分
- 臨時休館のお知らせ
今市図書館と藤原図書館は、蔵書点検のため、次の日程で休館となります。
今市図書館 10月5日(日)〜10日(金)
藤原図書館 10月23日(木)〜27日(月)
※期間中、図書と雑誌の返却は、返本ポストをご利用ください。なお、CDやビデオ、紙芝居は壊れやすいので、返本ポストには入れないでください。

芥川賞・直木賞

今年の芥川賞は、楊逸の「時が滲む朝」、直木賞は、井上荒野の「切羽へ」が選ばれました。

ところで皆さんは、芥川賞や直木賞とは、どのような賞なのかご存じですか。

芥川賞は、芥川竜之介の業績を記念する意味と雑誌の発展、純文学の新人の発掘を目指して創設された文学賞です。

また、直木賞は、直木三十五の業績を記念する意味と大衆文学の発展、新人の発掘を目指して創設された文学賞です。

図書館コラム

本を楽しもう!

共に、文芸春秋社を主宰していた菊池寛が創設した文学賞で、1935年(昭和10年)以来、現在に至るまで続いています。

芥川賞の第1回受賞者は、石川達三で「蒼氓」により受賞しました。直木賞の第1回受賞者は、川口松太郎で「風流深川唄」など一連の作で受賞しました。

芥川賞の過去の受賞者には、松本清張、五味康祐、宇能鴻一郎などがいます。特に、社会的に大きな影響力を持ったのは石原慎太郎の「太陽の季節」の受賞で、黄否両論の対立が激しく話題になり、太陽族と称される世相・風俗を流行させる一因ともなりました。

直木賞の過去の受賞者には、井伏鱒二、梅崎春生などがおり、異色の例としては、哲学者で文部省の局長を務めた佐藤得二の書いた唯一の小説「女のいくさ」が第49回直木賞を受賞しています。また、「日本婦道記」で第17回の授賞が決定した山本周五郎は、受賞を辞退しています。

皆さんも、これら過去の受賞作も読んでみてはいかがでしょうか。